

令和5年度 寝屋川市立楠根小学校

NAKAKIDA☆きらら学園教育目標

「Leave No One Behind～誰一人取り残さない～」という、『NAKAKIDA☆きらら学園』の小中一貫教育目標に向けて、自ら学び、共に歩み、未来を拓く楠根小学校の子どもの育成に取り組む。

<9年間で育てる子ども像>

- ★ 世界へ羽ばたく夢を持てる子ども
- ★ 笑顔と自己有用感に溢れた子ども
- ★ 基礎を固め、考・心・体が備わった子ども

◎ 学校教育目標 「自他ともに尊重する子ども」

- めざす子ども像…自分で考え、判断し、行動できる子

本年度の重点目標

- ☆一人のこらず、すべての児童の学びを保障する
- ・子ども同士の聴き合うことを大事にする。
- ☆教職員同士が学び合い、高め合う

◎ 学校経営方針

- 子どもの豊かな聴き合いを生み出す授業力・学級経営力の向上をめざす。
- 研修を通して、重点目標達成に向けた教師の主体的な取組の充実を図る。

○上記のめざす子ども像の具現化のために「家庭や地域」と連携して、以下の教育活動の充実に努める。

今年度の重点的に取り組む教育活動

- ・基礎学力の定着（放課後学習等含む）
- ・主体的、対話的で深い学びの実現（楽しく深まりのある授業づくり）
- ・「特別の教科道徳」の充実
- ・ディベート教育を通してのコミュニケーション力の育成（聴き合い、考えを伝え合う集団づくり）
- ・支援教育の充実（インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン）
- ・人権教育の充実
- ・基礎体力・運動能力の向上
- ・食育・健康教育の推進（朝食、生活リズム）
- ・学ぶ場としての教育環境整備（教室配置）

○一人一人の教職員が常に下記のこと留意して、自己評価しながら、子どもたちの育成することを心がける。

今年度の具体的に取り組む努力目標

- ・進んであいさつ（顔を見て、自分から、笑顔とともに）
先生同士・先生と子ども・来校者・PTA・見守り隊・安全監視員・来客
- ・進んで掃除（心を鍛える、美しい環境が子どもを育てる、自己有用感の向上）
- ・正しい言葉遣いで思いを伝える力を鍛える（子どもの言語環境を整える、敬語の指導）
→授業中は特に「〇〇さん」と児童への声かけは丁寧に。目上の人には適切な敬語を使う。